

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		農業委員会だより発行事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部								
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	農業委員会							
	基本事業	18	農業振興地域の形成			所属班	農地班							
						課長名	立山 和文							
						担当者名	富加美尚悟							
						(内線)	1182							
予算科目	会計	1	款	6	項	1	目	1	事業連番	10178	法令根拠		成果優先度評価結果	8
												コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度)		☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	農業委員会だよりの発行(年2回) 合併を機に年2回発行している。 農地のあっせん(売り手・貸し手)の増が見込まれると共に、標準小作料を掲載し、周知することにより、貸し手借り手が安心して契約できる。品目横断的経営安定対策により、集落営農組織が出来ているが、受託する場合農作業標準賃金を掲載し、周知することにより、安心して契約できる。
【業務の流れ】	記事の検討取材、写真撮影、発行、全世帯に配付
【主な予算費目】	需用費(印刷製本費)
【意見や要望】	農地のあっせんの問い合わせが増えた。記事の内容について問い合わせが増えた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

(1) 半段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
農業委員会だよりの発行(年2回)		農業委員会だよりの発行(年2回)	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標		(単位)	(単位)
⇒ ア 発行回数	回	イ 配付枚数	枚
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
市民		⇒ ア 人口	人
⇒ イ			
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
農業行政に対する理解が深まる。		⇒ ア 未配付として苦情が上がった人数	人
⇒ イ			
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			

(2) 各指標・総事業費の推移

	単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回	2	2	2	2	2	2	2
	イ 枚	17500	17500	17500	17700	18000	18000	18000
⑤ 対象指標	ア 人	53450	54407	54600	54525	54944	54944	54944
	イ							
⑥ 成果指標	ア 人	0	0	0	0	0	0	0
	イ							
投資 入 量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円	201	266	280	227	270	270
	(A) 事業費計	千円	201	266	280	227	270	270
	(A)のうち指定経費	千円						
	(A)のうち時間外、特勤	千円						
	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人件 費	延べ業務時間	時間	80	188	188	188	188	188
	(B)人件費計	千円	318	752	748	748	748	748
	トータルコスト(A)+(B)	千円	519	1,018	1,028	975	1,018	1,018

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

谷志市

事務事業名	農業委員会だより発行事業	所属部		所属課	農業委員会
-------	--------------	-----	--	-----	-------

2 評価の部 (SEE)
*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 年2回発行した。	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 年2回発行する。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 読み手が興味を持って見られるよう、記事の充実を図る。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 年2回の保存版的としての活用が見込まれるので、統廃合はできない。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の経費で印刷・発行を行っているので削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 個人の情報・関係機関との連携もあるので、外部委託は出来ない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 農業行政について全世帯に配付しているので公正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 農業委員会の活動の一環であるので、農業委員会が発行するのは、適正である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

年2回発行した。
読み手が興味を持って見られるよう、記事の充実を図りたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
低下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし。